

## 平成 29 年度 沼津市幼保小連携協議会 報告

○日 時：平成 30 年 1 月 18 日（木）14：30～

○場 所：市役所 水道部庁舎 3 階会議室

○出席者：木内 和彦（愛鷹小学校 校長）  
仲家 薫（第四小学校 教諭）  
野中由美子（門池小学校 教諭）  
保坂賀世子（大平幼稚園 主任教諭）  
眞野 裕輝（原町幼稚園 教諭）  
高橋 清美（大岡保育所 副所長）  
鈴木 敦子（浮島保育園 主任保育士）  
内山 清美（認定こども園中央幼稚園 学年リーダー）

事務局：教育企画課、子育て支援課

### ○協議会の主な内容

- ①これまでの幼保小連携協議会について → 事務局が説明
- ②連携の現状について → 各幼保小の取組・他市の連携の様子を事務局が説明
- ③今後の連携についての意見
  - ・現在は、年長の園児が小学校へ行って、行事への参加、授業参観、一緒に遊ぶというような交流を実施しており、子供たちも楽しんでいる。
  - ・小学校で子供を指導する際の参考となるような情報交換を、書式をそろえつつ幼保小の間でこれまで以上に綿密に行うことが重要である。
  - ・新年度の 4 月以降に、幼保の先生が 1 年生の授業参観をした上で小学校教員と意見交換をしたり、1 年生の担任が幼保へ連絡を取って子供の様子や指導の参考となることについて聞いたりするというような交流も必要であろう。
  - ・他市で実践している『幼保小合同研修会』のようなものを開催して、幼保小の教員が直接顔を合わせる機会があっても良いと思う。
  - ・小学生になるとときには、子供とともに保護者もギャップ等を感じる場合があるため、保護者のケアという点でも幼保小で連携を取ることが大切である。
  - ・私立幼稚園協会で行っている『おやこんぼ』について小学校へもっと紹介することがあってもよい。
- ④認定こども園について→内山学年リーダーからの説明